

# 「戦争を超え、和解へ」諸宗教平和円卓会議

## 第2回東京平和円卓会議

### コンセプトノート

#### 背景

私たちの共通の家に対する無数の脅威を背にして、国際社会は蔓延する不安感に悩まされている。これは国連報告にあるように第二次世界大戦以降、現在進行中の暴力的紛争が最も多く発生していることに起因する。現在、世界のあらゆる地域で、平和と安全の基盤が脅かされている。アフガニスタン、コロンビア、エチオピア、イスラエル、ガザとヨルダン川西岸地域、ミャンマー、ウクライナで同時に起きている武力紛争は、数多くの脅威の中でも特に恐ろしいものとなっている。

諸宗教組織と多様な宗教指導者が主導する平和構築活動には、新たなアプローチやこれまでのアプローチの刷新が緊急に必要であることは、依然として重要かつ明確な課題となっている。第2回東京平和円卓会議では、こうした新たなアプローチやアプローチの刷新、諸宗教の具体的な活動例に焦点を当てる。

世界の人道支援へのニーズは記録的な水準に達している。世界中で3億6,000万人以上が人道支援を必要としており、そのうち1億1,000万人以上が迫害、暴力的紛争、人権侵害などにより、強制的に避難させられている。「物言えぬ犠牲者」である女性、子ども、社会から疎外された人々は砲火に巻き込まれ、不当に権利を奪われ、重大な人権侵害の影響を受けている。

平和と安全保障、持続可能な開発、そして人権に対するグローバルな課題に取り組むには、信仰、文化、民族、カテゴリーを超えた継続的な協力が必要である。このような状況において、すべての宗教・信仰の伝統は、信者たちに向けて、すべての人々と地球の共通善のために協力することを呼びかけている。社会基盤を支える柱として、また変革の重要な担い手として、宗教・信仰の関係者、政策立案者、政府および政府間組織は、和解を促進し、平和・安全保障・人間の尊厳のための基盤を構築（再構築）する上で、互いの持てる能力や取り組みの情報を伝え、強化することができやすい立場にある。

このような認識の下、WCRP/RfP (Religions for Peace) は「戦争を超え和解へ：諸宗教平和円卓会議」を立ち上げた。この円卓会議は、戦時と平時の両方にさまざまなコミュニティで共に奉仕した経験のある諸宗教指導者を、宗教に関係のない政策立案者とともに招集するものである。2022年9月に開催された第1回「東京平和円卓会議」では、エチオピア、ミャンマー、南スーダン、ロシア、ウクライナなど、紛争状態にある国々の宗教指導者のために「安全なスペース」が用意され、互いを鼓舞し支え合い、より平和で公正かつ包括的な社会の実現に向けて、社会的分断への癒し、トラウマからの修復、赦しと和解の醸成が促進された。

## 第2回東京平和円卓会議

以上のことを基盤として、WCRP/RfP 国際委員会と WCRP 日本委員会は、多様な宗教・信仰の指導者や関係者、政策立案者、専門家を招集して 2024 年 2 月 19～21 日に、日本の東京で第2回東京平和円卓会議を開催する。第2回平和円卓会議は、特に第1回平和円卓会議での指導者たちによって合意された声明に基づいて行われる：

1. **コミットメント**：癒しと赦しの必要性、およびその憲章に基づき、暴力の連鎖の再発を防ぐため、すべての関係者が長期的な和解のプロセスに取り組むこと。
2. **継続**：諸宗教平和円卓会議を継続し、紛争のすべての側面から宗教指導者を招集し、知恵を共有し、諸宗教間の協力と平和を構築すること。
3. **認識**：私たちすべてが、人間の命の神聖さとすべての人々への愛を育み続けることが不可欠であると認めること。

世界で最も歴史があり、最も代表的な諸宗教指導者のプラットフォームである WCRP/RfP は、50 年以上にわたり、約 100 カ国で諸宗教評議会、女性宗教者および諸宗教青年ネットワークを通じて、調停活動、諸宗教間の対話と協力、そして諸宗教による重要な支援の提供を行ってきた。世界中で WCRP/RfP 運動の宗教・信仰指導者たちは、互いに協力し合うだけでなく、宗教に関係のない市民社会組織、政策立案者、政府および政府間組織とも共通の行動を推進している。

### 目的と成果

WCRP/RfP 国際委員会と WCRP 日本委員会は、多様な宗教・信仰指導者や関係者を、宗教に関係のない政策立案者や専門家とともに招集し、以下のことを行う：

- i. 紛争地や人道的状況において、多様な宗教伝統の指導者が、共に取り組みを行う中で果たすことのできる具体的な役割を認識し、評価する。
- ii. 諸宗教プラットフォーム（諸宗教評議会を含む）が、和解と社会的結束の再構築のために採用した様々な戦略を見出し、精査する。
- iii. 多様な状況下で提供された諸宗教人道支援の独自の貢献と、そのような人道支援活動が社会的結束力の（再）構築にどのように貢献するかについて学んだ教訓を評価する。

結果として、第2回東京平和円卓会議は以下のことに直接的な貢献につながることが期待される：

- i. 平和構築活動にむけて、諸宗教指導者や世俗の指導者、政策立案者の間で、複数開催や開催規模の変更も可能な安全なスペースを提供する。
- ii. 諸宗教の行動が、平和で包括的な社会の再建・復興に向けた政策立案者の取り組みにどのようにプラスの影響を与えるかについて、明確に理解を深める。
- iii. 多様な宗教指導者間、また宗教者と宗教に関係のない政策立案者や平和構築者間の連帯、取り組み、信頼の絆を強める。

1. 共催：WCRP/RfP 国際委員会、WCRP 日本委員会、  
国連文明の同盟（UN Alliance of Civilization：UNAOC）
2. 後援：アジア宗教者平和会議、WCRP 国際活動支援議員懇談会、WCRP ジャ  
パニーズトラスティーズ、国際 IC 日本協会、国際 IC 推進議員連盟
3. 日程：2024 年 2 月 19 日～21 日  
2 月 19 日（月）開会式、会合  
2 月 20 日（火）宗教施設・都内見学（非公開）  
2 月 21 日（水）会合、閉会式
4. 会場：東京ハイアットリージェンシーホテル
5. 海外参加者：
  - (1) WCRP/RfP 国際委員会共同議長  
メトロポリタン・エマニュエル・アダマキス師  
（国際共同議長、カルケドン府主教、トルコ）  
ヴィヌ・アラム博士  
（国際共同議長、シャンティ・アシュラム会長、インド）  
シェイク・アブダッラー・ビン・バイヤビン・バイヤ博士 ※調整中  
（国際共同議長、アブダビ平和フォーラム会長、アラブ首長国連邦）  
庭野光祥師（国際共同議長、立正佼成会次代会長、日本）
  - (2) WCRP/RfP 国際委員会事務局  
ディーピカ・シン氏（WCRP/RfP 国際副事務総長）
  - (3) WCRP/RfP 地域委員会  
フランシス・クーリエ・カゲマ博士  
（WCRP/RfP アフリカ宗教指導者評議会事務総長）  
ジョアン・ヘルナンデス・セレート博士  
（WCRP/RfP ヨーロッパ事務総長）  
エリアス・シュチニツキ氏  
（WCRP/RfP ラテンアメリカ・カリブ海地域事務総長）  
篠原祥哲博士（ACRP/RfP アジア事務総長）
  - (4) WCRP/RfP 名誉会長、共同会長  
ムニブ・ユナン博士  
（名誉会長、ヨルダン・聖地福音ルーテル教会名誉主教、パレスチナ）  
チャールズ・ボー枢機卿（共同会長、ヤンゴン大司教、ミャンマー）
  - (5) 紛争地域の宗教者  
コロンビア：キリスト教指導者  
ハイチ：WCRP/RfP ハイチ代表  
イスラエル：ユダヤ教指導者 2 人 ※調整中  
マリ：ムスリム指導者  
パレスチナ：ムスリム指導者  
ロシア：ロシア正教指導者、ムスリム指導者、ユダヤ教指導者  
ウクライナ：ウクライナ正教指導者、カトリック指導者、ユダヤ教指導者

6. プログラム案

2月19日(月) 開会と議論	
開会式(公開)	
13:30 — 14:30	<p>平和の祈り</p> <p><b>開会挨拶：WCRP/RfP 国際委員会共同議長・会長</b></p> <p><b>挨拶：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メトロポリタン・エマニュエル・アダマキス師 (カルケドン府主教、東方正教会)</li> <li>・シェイク・アブドラ・ビンバイヤ博士 (アブダビ平和フォーラム会長)</li> <li>・ムニブ・ユナン博士 (名誉会長、ヨルダン・聖地福音ルーテル教会名誉主教)</li> <li>・その他宗教指導者</li> </ul>
14:30 — 16:00	<p><b>セッション1：許しと和解の促進に向けた現在の武力紛争への洞察と宗教指導者の役割(非公開)</b></p> <p><b>進行：</b>フランシス・クーリエ・カゲマ博士 (WCRP/RfP アフリカ宗教指導者評議会事務総長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカの発表: エチオピア、マリ <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 討議</li> </ul> </li> <li>・アジアの発表: ミャンマー、アフガニスタン、タイ <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 討議</li> </ul> </li> <li>・欧州の発表: ロシア、ウクライナ <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 討議</li> </ul> </li> <li>・南米・カリブ地域の報告: ハイチ、コロンビア <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 討議</li> </ul> </li> <li>・中東の発表: イスラエル、パレスチナ <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 討議</li> </ul> </li> </ul>
16:00 — 16:30	<p>休憩</p>
16:30 — 18:00	<p><b>セッション2：諸宗教・各界による許しと和解に向けたアプローチ(公開)</b></p> <p><b>進行：</b></p> <p><b>発表：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フランシス・クーリエ・カゲマ博士 (WCRP/RfP アフリカ宗教指導者評議会事務総長)</li> <li>・ジョアン・ヘルナンデス・セレート博士 (WCRP/RfP ヨーロッパ事務総長)</li> <li>・篠原祥哲博士 (ACRP/RfP アジア事務総長)</li> <li>・エリアス・シュチニツキ氏 (WCRP/RfP ラテンアメリカ・カリブ海地域事務総長)</li> </ul>

2月20日(火) 都内・宗教施設訪問	
09:00 — 17:30	終日、都内観光・宗教施設訪問（非公開）
18:30	WCRP 国際活動支援議員懇談会など国会議員と海外参加者との会合
2月21日(水) 議論と閉会式	
09:00 —	平和の祈り
09:10 — 11:00	グループ討論：許しと和解に向けた諸宗教・各界の特徴を活かしたアプローチの活用について（非公開）
11:00 — 13:00	前進に向かって：赦しと和解のための諸宗教・各界の協力にもとづく行動の促進（非公開）
13:00	進行: WCRP 日本委員会  発表: すべての参加国の宗教者
13:00 — 14:30	昼食
14:30 — 16:00	閉会式（公開） <ul style="list-style-type: none"> <li>• WCRP/RfP 国際委員会、日本委員会</li> <li>• WCRP 国際活動支援議員懇談会</li> <li>• WCRP ジャパニーズトラスティーズ</li> <li>• 国際 IC 推進議員連盟・国際 IC 日本協会</li> <li>• 声明文発表</li> </ul>
16:30 — 17:30	記者会見

以 上